

独立行政法人空港周辺整備機構 契約監視委員会
平成 30 事業年度 定例契約審査会議 審議概要

独立行政法人空港周辺整備機構

開催日時 及び場所	平成 30 年 6 月 8 日（金）13 時 30 分～15 時 45 分 （独）空港周辺整備機構 会議室			
委 員	委員長 伊藤 正一（独立行政法人空港周辺整備機構 監事） 委員 山本 智子（独立行政法人空港周辺整備機構 監事（非常勤）） 委員 屋宮 憲夫（福岡大学法学部 教授） 委員 林 桂一郎（弁護士）			
会議内容	（1）平成 29 事業年度の契約実績に関する報告等 （2）「平成 29 年度調達等合理化計画」の自己評価について （3）「平成 30 年度調達等合理化計画」について （4）審議対象契約に関する審議			
審議対象期間	平成 29 事業年度（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）			
審議対象契約 （注）	区 分	件 数	備 考	
	競争性のある契約	一般競争入札	2 件	
		うち 複数応札案件	2 件	工事 2 件、コンサル 0 件
		うち 一者応札案件	0 件	
		企画競争	2 件	
		うち 複数応札案件	2 件	役務等 2 件
		うち 一者応札案件	0 件	
	競争性のない随意契約	2 件	役務等 2 件	
合 計	6 件			
委員からの 意見・質問 及びそれ に対する回答	委員からの意見・質問	回答（空港周辺整備機構）		
	別紙のとおり	別紙のとおり		
委員会から の意見表示 又は勧告の 内容	特になし			

（注）審議対象契約の範囲
審議対象期間に締結した契約（予定価格が少額のものを除く。）のうち、次の契約を審議対象としている。
① 委員が抽出した案件
② ①以外の契約のうち、一者応札・応募であった一般競争入札等及び競争性のない随意契約

委員からの意見・質問及びそれに対する回答（1／3）

意見・質問（契約監視委員会）	回答（空港周辺整備機構）
<p data-bbox="193 371 778 465">平成29年度 緑地造成事業 緑地造成工事 【一般競争入札】</p> <p data-bbox="188 495 783 600">○ 入札の結果、全ての応札価格が予定価格を下回っています。予定価格の算定方法を教えてください。</p> <p data-bbox="188 842 783 947">○ 今回の工事の落札率は57.0%ですが過去においてもこのように予定価格と乖離しているのでしょうか。</p> <p data-bbox="188 1151 783 1223">○ 落札業者は毎年変わっているのでしょうか。また、入札参加業者は同じなのでしょうか。</p>	<p data-bbox="810 495 1406 797">○ 国の積算基準書に基づき算定しています。この基準は公共機関発注工事を対象にした実態調査を基に統計処理のうえ作成されています。労務単価は国が調査した公共工事設計労務単価を採用しており、資材単価は市場調査結果に基づき設定されている物価資料の単価を採用します。よって予定価格は適切な価格であると考えています。</p> <p data-bbox="810 842 1406 1104">○ 過去の落札率は、平成23年が60.0%、24年が59.4%、25年が62.4%、26年が64.9%、27年が62.3%、28年が99.0%となっています。28年のみ参加資格等級がB等級でしたがそれ以外の年はA等級で落札率は概ね60%程ですので、適正ではないかと考えています。</p> <p data-bbox="810 1151 1406 1294">○ 平成29年は初めての業者が落札しました。過去5年において毎年、落札業者は変わっています。また、入札参加業者は毎年同じ業者ばかりではなく変わっています。</p>
<p data-bbox="193 1352 778 1435">騒音斉合施設大井その1換気設備改修外工事 【一般競争入札】</p> <p data-bbox="188 1458 783 1608">○ 外調機6台のうち3台について仕様書通りに設置できないとの施工業者主張から翌年度工事になっていますが、機器設置について設計を行ったのはどこになるのでしょうか。</p> <p data-bbox="188 1731 783 1836">○ 設計会社との契約については、トラブルが発生した場合の契約条項はどのようになっているのでしょうか。</p> <p data-bbox="188 1883 783 1995">○ リスクマネジメントの観点から、契約が十分履行されない場合の金銭負担に係る対応条項を追加されたほうがよろしいと考えます。</p>	<p data-bbox="810 1458 1406 1682">○ 設計会社による設計です。同社が現地確認していますが、設備機器メーカーに直接確認せず代理店との確認で済ませていたものです。機構としては空調機器の機能を十分発揮できない懸念があったため3台について一旦発注を見送りました。</p> <p data-bbox="810 1731 1406 1765">○ その点は明確になっていませんでした。</p> <p data-bbox="810 1883 1406 1917">○ その旨対応致します。</p>

委員からの意見・質問及びそれに対する回答（2／3）

意見・質問（契約監視委員会）	回答（空港周辺整備機構）
<p>○ 設計会社による契約が十分履行されない場合には責任が生じてくると思いますが、設計会社との協議はどのようになったのでしょうか。</p> <p>○ 応札した3者のうち3番目の応札価格が予定価格と非常に近い金額となっていますが偶然なのでしょうか。</p> <p>また、予定価格の決定については積算価格に過去の落札率を勘案して算出することはできないのでしょうか。</p>	<p>○ 本件懸念事項につきまして、設計会社と協議を行いまして、機能が十分発揮できる設計内容へ修正を行わせています。なお、修正に係る機構側の追加費用負担は発生していません。</p> <p>○ そう思います。</p> <p>各工事につきましては、国の公共建築工事積算基準に基づいて積算を行っています。機器についてはメーカー見積額です。歩掛かり等は例年国の実態調査によって決まりますので機構では国の基準に沿って算出した積算価格を実勢価格と考え予定価格としています。</p>
<p>平成29業年度 不動産鑑定評価業務（その2）【企画競争入札】</p>	
<p>○ 提案内容において割引率は高いが鑑定評価実績が少なければ結果として総合点が劣ってしまい、新規業者の参入が出来ないのではないのでしょうか。</p>	<p>○ 全体の配点のうち割引率は50%と最も重視していますが、空港周辺地域の鑑定実績も33%と重視していますので、鑑定実績が足りずに現状このような結果となっています。</p> <p>鑑定評価実績対象エリアを拡大した経緯があり、以前より鑑定実績を確保し易くなっている状況であります。</p>
<p>○ ワーク・ライフ・バランスを審査基準に追加されたのはどうしてでしょうか。配点は少ないようですね。</p>	<p>○ 国から女性活躍推進等を行う企業を評価するよう要請を受けて追加しています。配点割合は国から例示された範囲で設定しています。</p>
<p>○ 企画提案書評価表（集計表）において、契約した2者の割引率が大きく乖離しているのは何故でしょうか。</p>	<p>○ 不動産鑑定評価業務の請負金額につきましては、不動産鑑定報酬基準をベースに評価会社の経営努力によって効率的な業務を行うことにより割引額が異なってくると考えています。</p>
<p>○ 2者による鑑定評価額に差はあるのでしょうか。鑑定評価額に大きな差がないのであれば、提案内容を審査する配点において割引率のウェイトを一層重視したほうが経済的です。</p>	<p>○ ほとんど同じでした。</p>
<p>共益費（水道及びガス料金）、事務所電気代 【競争性のない随意契約】</p>	
<p>○ 特に意見なし。</p>	

委員からの意見・質問及びそれに対する回答（3 / 3）

意見・質問（契約監視委員会）	回答（空港周辺整備機構）
<p>平成29年度独立行政法人空港周辺整備機構 調達等合理化計画の自己評価について</p> <p>○ 入札に係るアンケートのうち、僅かながらご意見があるようですが今後の改善事項について自己評価へ追加しては如何でしょうか。</p>	<p>○ ご意見を参考とし修正致します。</p>
<p>平成30年度独立行政法人空港周辺整備機構 調達等合理化計画について</p> <p>○ 電力使用量節減に関して、取り組みの記載振りを正確な表現に修正しては如何でしょうか。</p>	<p>○ ご意見を参考とし修正致します。</p>
<p>審議結果のまとめ</p> <p>○ 本委員会において審議の結果、意見表示、勧告の必要はないものと認める。</p> <p>但し、以下の2点については見直しを行ったうえで今後の業務運営に反映して頂きたい。</p> <p>1点目は、騒音斉合施設大井その1換気設備改修外工事の設計に関しまして、設計業者とは請書にて契約していたとのことですが、契約においては責任の所在を明確にする条項を記載することによってトラブル発生に備えていただきたい。</p> <p>2点目は、不動産鑑定評価業務の審査基準について、割引率の配点ウェイトをもう少し引き上げるよう見直しを行っていただきたい。</p> <p>また、ワーク・ライフ・バランスの配点について、機構としての取組姿勢を示す趣旨から見直しを検討して頂きたい。</p>	